

OIEが20日～25日、パリで第80回の総会を開催

国際獣疫事務局(OIE)は20日～25日、フランス・パリで第80回の総会を開催する。日本からは農水省の川島俊郎動物衛生課長らが出席予定。今回はOIEの理事会、地域委員会、専門委員会の選挙が行われる。

議題の1つである公式疾病ステータス認定では、BSEに関連して「無視できるリスク」の国にオーストリア、ベルギー、ブラジル、コロンビアが認定される予定。

カナダが対日輸出馬の家畜衛生条件を改正―動物検疫所

農水省動物検疫所は9日、カナダから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件が改正されたと発表した。主な改正は出国検疫について輸出馬は船積み前少なくとも7日間カナダ農務省が家畜防疫上安全と認めた施設において係留して検査を受け、出国検疫期間中は他の動物と接触しないこと。輸送については輸出馬の輸送に使用する車輛および輸送箱などは清掃し、カナダ農務省が認可した消毒薬で消毒する。また輸送中は他の動物を混載しないなど。

また、出国検疫開始後から日本到着までの間に使用する飼料および敷料は家畜の伝染性疾病の病原体に汚染されていないこと。そのほか、カナダ農務省は臨床検査で異常所見が認められなかったなどを記載した検査証明書を発行する。

ミートコンパニオンがタイフェックスにブランド和牛出展



(株)ミートコンパニオンは今年23～25日、タイ・バンコク市内のIMPACTエキシビジョンセンターで開催される「タイフェックス(ワールドオブ フードアジア)」に、同社で取扱っている和牛ブランドを出展する。同社は、平成24年に入ってから商社を通じてバンコク市内の高級百貨店で、試験的に和牛の販売を開始している。今回のタイフェックスでの展示商品は、ミートコンパニオングループの海外輸出認定施設となっている子会社「(株)アグリス・ワン」で加工された「WAGYU 侍 SAMURAI」(図)ブランド牛肉。

「タイフェックス」は、巨大アジア市場を背景に、食料品、小売業、ホスピタリティ・ビジネスなど食品関連全般を網羅する展示会で、今回で9回目となる。タイだけでなくアジア市場攻略の見本市としても発展しており、来場者も業界専門のバイヤーなど2万人以上が参加して活発な商談が行われている。また、シーフードやハラル食品の特別ゾーンも設置するなど新たなマーケットを攻略する絶好の機会も提供している。ここで和牛を積極的にアピールする。